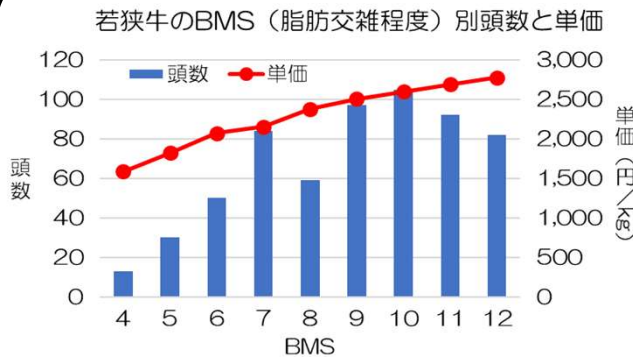
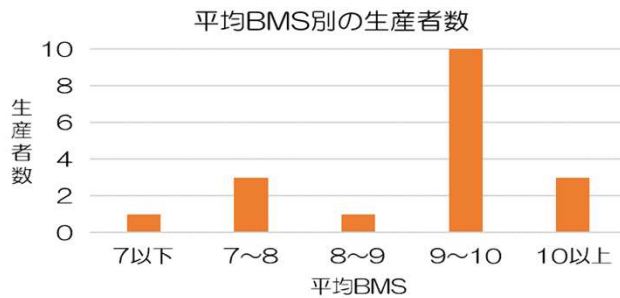


現状



若狭牛出荷頭数：612頭 (R4)
 平均BMS：9.0、単価：2,437円/kg
 (参考：能登牛 BMS9.6 単価2,527円/kg)



BMS向上には、高度なビタミンAコントロール※が必須

内容

- 1 ビタミンB群の給与量を検討
 - ・農家の肥育牛にビタミンB群を給与し、血中ビタミンB群濃度の変化、BMSを調査 → 適正給与量を決定
- 2 ビタミンB群給与肥育試験
 - ・試験1の結果を基に肥育試験を実施

区画	ビタミンAコントロール	ビタミンB群
試験区	×	○
対照区①	×	×
対照区②	○	×

→ ビタミンB群給与によるBMSの影響を特定

※肥育中期以降（月齢13か月～）ビタミンAの摂取を断つことで、脂肪交雑（サシ）を高める技術

結果

- ・ビタミンAコントロールに頼らない安全なBMS向上技術確立
- ・高度な技術がない新規担い手でも効率的に良質な若狭牛を生産できる技術確立
- ・アニマルウェルフェアに寄与する技術確立

目標：BMS 10以上

期待される効果

- 平均枝肉単価の向上
 - ・瑕疵による価格低下の抑制
 瑕疵有：2,181円 → 瑕疵無：2,457円 (R4実績)
- ・BMSの向上
 BMS9：2,457円 → BMS10：2,614円
- 年間出荷頭数の増加
 - ・出荷不可等による損失 約20頭 → 0頭

【経済効果】

- 枝肉単価の向上
 - ・瑕疵有無の価格差 × 瑕疵頭数
 17万円/頭 × 100頭 = 1,700万円/年
 - ・BMS向上の単価の差 × 枝肉重量 × 頭数
 157円/kg × 481kg × 612頭
 ≒ 4,622万円/年
- 出荷頭数の増加
 - ・1頭分の販売額 × 増頭数
 126万円/頭 × 20頭 = 2,520万円/年

合計 8,842万円/年

課題

- ビタミンAコントロールは、高度かつ欠乏症による重大事故と背中合わせ
 - ・失明 ・起立困難 ・突然死 など
- 肥育牛の約20%に欠乏症の影響 (農家聞き取り)
- 増頭に向け、リスクが小さく、新規担い手でも容易に高品質生産が可能な技術が必要

脂肪細胞の分化を促進するビタミンB群を給与することでビタミンAコントロールを行わず、十分なBMSを確保することはできないか。

起立困難による緊急出荷

